

『オホーツクはまなす牛』を使用した 食育授業開催

道産牛肉を題材にした食育授業『学ぼう！作ろう！道産牛肉』が10月23日(水)に滝上小学校(5・6年生21名)、翌24日(木)には、南が丘小学校(6年生19名)で開催され、地元で生産された『オホーツクはまなす牛』を使った料理に挑戦しました。

主催は、北海道の生産者で作る『北海道産牛肉消費拡大強化実行委員会』で、当地区の肉牛生産者も各小学校に2名が参加し小学生との交流を深めました。

当日のメニューは、『ステーキ丼すき焼き風』・『牛しゃぶとゆで野菜のサラダ』・『北海道産牛汁』の3品で、講師として招かれた札幌市の料理研究家、東海林明子先生から野菜の切り方や料理の作り方の手順等を学んだ後、各班に分かれて実際に調理体験を行いました。

児童たちは、互いに協力し合いながら包丁を使って野菜や牛肉を切ったり、煮たりしながら料理の完成を目指し、出来上がった料理を全員で楽しみました。

食後には、児童から生産者への質問コーナーがあり、様々な質問が飛び交い和気あいあいとした雰囲気の中で食育授業は終了しました。地元で牛肉が生産されていることを知らない児童も多数見受けられましたが、この授業をきっかけに地元で生産されている安心・安全な食材への関心を深めることができたと思います。

(文：古屋 将志)



JAオホーツクはまなす青年部 視察研修



ドローン研修

10月31日(木)、青年部視察研修を札幌市にある北海道農業研究センターとHERICAM株式会社で行いました。

北海道農業研究センターではJGAPとスマート農業実証プロジェクトについて、HERICAM株式会社では産業用ドローンについての研修を行いました。

部員達はJGAPの概要を聴き、今後の酪畜農家のあり方とスマート農業の実施へ向けた構想を話題に

話し合い、赤外線カメラを搭載した産業用ドローンの紹介や動画での説明、実機によるデモフライトを見学することで、導入を検討する部員もいました。

JGAPやスマート農業の実証、産業用ドローンといった最新の情報を視察した事で、より強く時代の流れを感じる事が出来た、良い機会であると考え、来年度はより多くの部員に参加して頂ければと思います。

(文：中嶋 耕平)



Vol.55

P8→P10 令和元年度(2019) 役員視察研修報告

P11 『JA北海道大会実践フォーラム』開催される

P12→P13 紋別セルフSS ドライブスルー洗車機 OPEN!!

P14 外国人技能実習生 入国後講習

P15 読者の声

P16→P17 ワンポイントアドバイス ほ乳作業を楽にする♪ アイディア&工夫紹介!

P18→P19 健康直送便

P20→P21 子年生まれさん あ〜生まれ!!

P22 頭の体操!! 数独!! 編集後記

双子座
5/21~6/21

：【全体運】 周りの意見に振り回されやすいとき。自分の経験値を信じて選択を。セールでは掘り出し物をゲット
：【健康運】 疲労をため込む傾向が大。笑いで発散を
：【幸運の食べ物】 ナガイモ